

# 令和4年度 園評価

《園の教育目標》 【心豊かにたくましく生きる子】 ・じょうぶな子 ・なかよく遊ぶ子 ・よく考える子

4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない

大垣市立荒崎幼稚園

重点目標	評価項目	保護者評価(%)	自己評価 ○成果 ●課題	自己評価(%)	関係者評価(評議員6名)	今後の改善に向けて
じょうぶな子 ・自ら体を動かすことを楽しみ、安全に遊ぶ。 ・正しい姿勢を意識する。 ・命を守るためにすべきことがわかり、しようとする。	① 1日1回思い切り体を動かして遊ぶ場をもつことができたか。 (自己評価3.5以上)	/	○天候の良い日は戸外で十分に体を動かして遊ぶ時間もち、年齢や季節に合わせた遊びを継続することができた。雨の日も遊戯室やテラスを利用し、リズム遊びやサーキット、体操などを行い、体づくりに力を入れた。 ●園庭の使用時間や未満児のスペースを工夫し、さらに十分な時間を確保できるようにしたい。	4:89% 3:11% 2:0% 1:0% (平均3.9)	・子ども達が外で遊んでいる姿をよく見かけた。園庭使用の時間割が大変かと思うが引き続き戸外でのびのびと遊ばせるとよい。 ・戸外などで十分遊ぶことで体幹がしっかりした印象をもつ。	・陽の光を浴びることは心身の発育に効果があるので、一日の活動の流れを見直し十分に戸外遊びが楽しめる時間の確保をする。
	② 子どもの生活習慣が整うような、意識づけや働きかけができたか。 (自己評価3.5以上) ・朝7:00までに起きることができたか。 (保護者評価3.5以上)	4:61% 3:38% 2:1% 1:0% (平均3.6)	○絵本や紙芝居を通して「早寝早起き朝ごはん」の大切さを知らせたり、生活リズムカードを活用し実践できるようにしたりした。 ●就学を意識し、9時までの登園をお願いしているが、保護者への意識付けが難しかった。今後も連携をとりながら生活リズムを整えていけるようにしたい。	4:28% 3:67% 2:0% 1:5% (平均3.2)	・家庭の意識の差が大きいと思うが、保育者が子ども達に分かりやすく説明をしていることが意識付けにつながっている。 ・4月当初、集団登校に遅れてくる小学生もいるため、園のうちに9時までに登園することはとても良いと思う。	・早起きをするためには早く寝ることが必要であるため、生活リズムカードの内容を見直し「9時までに就寝」が達成できるようにする。
	③ 手洗い、消毒、マスクの大切さを子どもに伝え、感染対策を行っている。 (保護者・自己評価3.5以上)	4:69% 3:31% 2:0% 1:0% (平均3.7)	○毎日繰り返し声をかけたり、保育者も一緒に実践したりすることで身に付いてきた。休み前には家庭でも手洗いがいをしっかり行うよう伝えていった。 ●手洗いが雑になったり、マスクがずれていたりする子もいるので、正しくできるよう徹底していきたい。	4:83% 3:17% 2:0% 1:0% (平均3.8)	・紙芝居での感染対策の指導は、物語仕立てのため、子どもの心に届きやすい。 ・毎日の積み重ねが大切だと感じる。またマスクのずれは視覚的に自分で確認できるようにすると良いと思う。	・自らの命を大切にできるよう、コロナ禍を経験して学んだ感染対策などを今後の日々の生活に活かしていく。
なかよく遊ぶ子 ・自分や友達の良いところをみつける。 ・異年齢や地域との連携を深める。 ・挨拶や返事、正しい言葉遣いをする。	④ 学年便りに遊びや活動の写真及びコメントを掲載し、友達とのかかわりや自分の気持ちの調整の大切さを伝えている。(保護者・自己評価3.5以上)	4:69% 3:31% 2:0% 1:0% (平均3.7)	○ルールのある遊びを楽しんでいる場面や、友達と関わって遊んでいる場面を捉えて学年だよりに掲載し、保護者に知らせていくことができた。 ○園生活の中での葛藤やいざこざを乗り越えて成長した姿を掲載し、保護者に伝えられるよう心がけた。 ●規範意識を捉える場面について、担任間で共通理解したうえで便りのコメントを作成した。	4:9% 3:83% 2:8% 1:0% (平均3.0)	・園での子どもの様子を写真で見られるのは、我が子がのびのびと遊ぶ姿や成長を知ることができ、保護者は嬉しいと思う。	・子どもの成長の過程を知ってもらえるように、行事などの楽しい場面だけでなく友達とのかかわりや規範意識の芽生えの姿を、継続して掲載していきたい。
	⑤ 子どもが自分から進んで挨拶できるようななかかわりができたか。 (保護者・自己評価3.5以上)	4:71% 3:29% 2:0% 1:0% (平均3.7)	○保育者が率先して保護者や園児、地域の人に笑顔で挨拶をし、モデルとなることができた。また自分から挨拶できた子を認め、全体に知らせることで、他の子も意識できるようになった。 ●まだ恥ずかしくてできない子や意識できていない子もいるので、挨拶の大切さを伝え、挨拶しやすい雰囲気を作っていきたい。	4:56% 3:44% 2:0% 1:0% (平均3.6)	・地域で見ていると、保護者の挨拶が少ないように感じる。子どもは大人の姿をよく見ているので、家庭の中で自然にできるようになるとよい。 ・自ら進んで地域の方や他学年の園児に対して素直に言葉を発している姿がある。「挨拶の花」が沢山咲き乱れることを期待する。	・保育者から率先して声をかけることで挨拶を返すことができるようになってきたので、保護者の協力も得ながら子どもから進んで挨拶ができるようにしたい。
	⑥ 身近な自然と触れ合える環境を整えることができたか。 (自己評価3.5以上)	/	○季節に応じ、植物や生き物などと触れ合えるよう環境設定し、世話をしたり成長を間近で見たりして興味関心につながった。 ○図鑑や絵本を用意しておくことで、調べたり絵を描いたりして遊ぶ姿が見られた。また秋には自然物遊びができるよう環境を整えることができた。 ●園外保育が十分にはできず、地域の自然に触れ合う機会が少なかった。	4:33% 3:67% 2:0% 1:0% (平均3.3)	・「触れる」「見る」「感じる」ことはとても大切である。身近なものでよいので、子ども達の「探求心」や「想像力」がもてる環境をお願いしたい。 ・園の畑で収穫したサツマ芋や、季節の野菜を使用した給食の提供が食育になっている。	・身近な動物への興味関心が更に高まるように、地域の自然に触れる園外保育を計画的に行いたい。
よく考える子 ・自分の好きな遊びをみつけ、工夫したり試したりして繰り返し遊ぶ。 ・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞こうとしたりする。	⑦ 子どもが好きな遊びを見つけて繰り返し遊ぶことができる環境の工夫ができています。 (保護者・自己評価3.5以上)	4:75% 3:24% 2:1% 1:0% (平均3.7)	○子どもの興味関心を探り、子どもがしたい遊びや好きな遊びを見つけられるよう環境を整えたり、提案したりすることができた。また、すぐに遊び出せるような環境を常時整えることで、夢になっって遊ぶ子が増えた。 ○継続して遊べるよう、途中のものを置いておく場所を設定したことで、「明日もやりたい」と意欲的に遊ぶ子が増えた。 ●好きな遊びが見つけれられない子に対して、いろいろな遊びの提案ができるようになった。	4:39% 3:56% 2:5% 1:0% (平均3.3)	・年齢を重ねるごとに遊びの内容が変化している。 ・遊びから友達の輪が広がり、思考の柔軟性も学べている。 ・大勢の子どもの見ることは大変だと思うが、その中でも最大限に関わってもらえている。	・子どもの興味関心をもとにした環境づくりを引き続き行うと共に、保育者が遊びの発信者となるよう自己研鑽に努めたい。
	⑧ 子どもが思いを伝え、相手の話を聞こうとするかかわりをしていく。 (保護者・自己評価3.5以上)	4:71% 3:28% 2:1% 1:0% (平均3.7)	○活動後の振り返りや帰りの会などで人前で話す機会を大切にすることで、話したい意欲が育ってきた。 ○友達とのトラブル時には、まずは互いの思いを受け止め、保育者が仲立ちとなって必要な言葉を知らせたり、相手の思いに気付いたりできるようにしていった。 ●自分の思いを一方的に話す子が多い。思いを十分受け止め、相手の話が聞けるようになっていきたい。	4:44% 3:50% 2:6% 1:0% (平均3.3)	・相手に思いを伝えることは大人でも難しいが園でも家庭でもお互いの思いに耳を傾け寄り添いながら成長を助長するとよい。 ・うまく言葉が出てこない時に、保育者が代弁者となったり、言葉を教えるのがよい。	・1日1回絵本や紙芝居などの読み聞かせを行い、聞くことの楽しさを感じられるようにする。また読み聞かせ後に感想を話す機会を作り、言葉で表現する力や聞く時話す時の区別がつけられるようにする。